

第9回 認知症のある人の福祉機器シンポジウム

対象：一般、当事者、家族、支援者、研究者

# 高齢社会を支える コミュニケーションロボット

2015年3月1日(日) 10:00 ~ 18:30 (開場 9:30)

東京大学 浅野キャンパス 武田先端知ビル (武田ホール)

無料 (交流会参加費 1,000円) 定員 200名 下記 URL 又は裏面申込書にてお申込み下さい。

<http://www.rehab.go.jp/ri/event/dementia9.html>



うなずきかぼちゃん



PARO

65歳以上の高齢者が4人に1人という超高齢社会となった本邦では、今後益々少子高齢化が進んでいくことが予想されます。平成27年度の介護保険制度改正では、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう支援する仕組み、「地域包括ケアシステム」が掲げられました。高齢者夫婦世帯、単身世帯が増え、個別支援が困難となっている昨今、ロボット技術による支援が注目されています。特に、コミュニケーションロボットは、介護予防、生活支援、リハビリテーションの領域で利用され始めており、高齢者が自分らしい生活を少しでも長く行えるよう支援することが期待されています。

今回、9回目を迎える「認知症のある人の福祉機器シンポジウム」では、高齢者を支えるコミュニケーションロボットの課題と可能性について議論したいと思います。皆様、ぜひご参加ください。



東京大学 浅野キャンパス 武田先端知ビル (武田ホール)  
〒113-8656 東京都文京区弥生 2-11-16

- 東京メトロ千代田線「根津駅」出口2から「浅野正門」まで徒歩2分
- 東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」出口2から「浅野正門」まで徒歩17分
- 都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」出口4から「浅野正門」まで徒歩17分
- 東京メトロ南北線「東大前」出口1から「浅野正門」まで徒歩10分



NAO



palro

主催：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 (厚生労働省所属機関) 共催：三菱総合研究所  
後援：経済産業省 (申請中)、総務省 (調整中)、テクノエイド協会、(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
協賛：(独) 科学技術振興機構 (JST)、日本バーチャルリアリティ学会、超高齢社会のVR活用研究委員会



10:00 開会挨拶

《基調講演》

第1部  
10:05 ~ 11:25

- 浦田 慶信 (株式会社生活科学運営 代表取締役社長)  
『高齢者施設におけるコミュニケーションロボットの可能性』
- 水谷 忠由 (厚生労働省 老健局 高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室長)  
『認知症施策推進総合戦略とロボット技術への期待』

《コミュニケーションロボット研究会 成果報告》

第2部  
11:25 ~ 12:40

- 橋本 政彦 (三菱総合研究所 人間・生活研究本部 主任研究員)  
『コミュニケーションロボット研究会の取り組みと今後の展望』
- ★各企業 コミュニケーションロボットの紹介  
Aldebaran Robotics 株式会社 (NAO)・ソフトバンクロボティクス株式会社 (Pepper)・大和ハウス工業株式会社 (PARO)、富士ソフト株式会社 (PALRO)・日本電気株式会社 (PaPeRo)・ピップ株式会社 (うなずきかぼちゃん)



12:40 ~ 14:10 休憩

《ロボット展示》 ホワイエ (ロビー) にて、各種コミュニケーションロボットを展示

《JST 戦略的イノベーション創出推進プログラム 成果報告》

第3部  
14:10 ~ 15:40

- 伊福部 達 (東京大学 名誉教授, 高齢社会総合研究機構 特任研究員)  
『高齢社会を豊かにする科学・技術・システムの創成』
- ★「高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムの開発」 成果報告  
国立障害者リハビリテーションセンター研究所・日本電気株式会社・東京大学  
産業技術総合研究所・フランスベッド株式会社・株式会社生活科学運営



15:40 ~ 15:55 休憩

《パネルディスカッション》

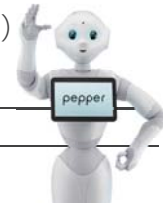
第4部  
15:55 ~ 17:25

- テーマ：『現場で役立つコミュニケーションロボットの課題と可能性』
- 司会： 井上剛伸 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長)
- パネリスト：井上薫 (首都大学東京 准教授) 『認知症をもつ人を対象としたコミュニケーションロボットの活用』
- 清水陽介 (株式会社生活科学運営)、 富田美穂子 (株式会社生活科学運営 ご入居者)
- 大中慎一 (日本電気株式会社)、 本田英二 (富士ソフト株式会社)、 支援者 (調整中)



17:25 ~ 17:30 閉会挨拶

17:30 ~ 18:30 交流会 (参加費 1,000 円)



参加申込み・お問合せ先

ホームページ上の事前申込みフォーム、または FAX、郵送でお申込み下さい。  
※切 2015年2月25日 (水) ※期日を過ぎた場合は、直接会場までお越しください。

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部 担当：西浦 裕子  
〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1 e-mail:dementia@rehab.go.jp  
電話 04-2995-3100 (2523) FAX 04-2995-3132  
HP : <http://www.rehab.go.jp/ri/event/dementia9.html> (認知症 & 福祉機器で検索 イベント欄)

参加申込書 FAX または郵送の場合、下記の「申込書」に内容をお書き添えの上お送りください。

ふりがな 氏名	ご所属
住所 〒	Eメール
電話	FAX
立場 (複数回答可 あてはまるものにチェックしてください)	
<input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 当事者 <input type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> 作業療法士 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーカー <input type="checkbox"/> ケアマネージャー <input type="checkbox"/> ヘルパー <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 開発者 <input type="checkbox"/> 研究者 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
交流会 <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない <input type="checkbox"/> 未定	
情報保障 (ご相談に応じます) <input type="checkbox"/> 要約筆記が必要 <input type="checkbox"/> 手話通訳が必要 <input type="checkbox"/> その他 ( )	